

Snowman Quiz

～梅田・茶屋町の歴史を感じるクイズラリー～



活動の目的

- 1 | 梅田・茶屋町地域の活性化と認知度向上
- 2 | 歴史クイズを通して「茶屋町を知ってもらいたい」、「また来たい」に繋がる新しい発見を見出してもらおう

連携にいたる経緯

関西大学と阪急電鉄の連携協定に基づき、梅田・茶屋町地域の活性化に向けてのワークショップを実施した結果、得られたいくつかの提案のうちのひとつを具体化し、毎年11月末～12月に開催される梅田スノーマンフェスティバルの関連イベントとして実施した。

活動内容

2017年12月16日、17日の2日間にわたり、大阪市北区茶屋町・鶴野町の企業および商業施設と連携し、梅田・茶屋町地区の歴史に関するクイズラリーを実施した。関西大学梅田キャンパスを含む商業施設など全5か所にチェックポイントを設置して、解答用紙の配布と出題をおこなった。ゴール地点となる阪急電鉄株式会社前テントでは、全問正解した参加者に阪急電鉄と関西大学が用意した景品を贈呈し、あわせて問題の解説文を配布した。さらに当イベントに関するアンケートに協力してくれた方には梅田周辺のマップを配布した。

活動の成果

- 1 | イベント2日間で合計367名の参加者（ゴールでの景品交換に来た方）があった
- 2 | アンケートの結果、茶屋町により親しみが湧いたとする回答が98%、「また参加したい」とする回答は100%、今回のような企画をもっとやってほしい、という回答も98%に達し、きわめて好評であった

● 教員紹介



総合情報学部 教授 岡田 朋之(おかだ ともゆき)

専門はメディア論。情報メディアの革新が人々の日常生活とどう関わっていくかについて、主に携帯電話やスマートフォンなどのモバイルコミュニケーションの変化から研究している。ゼミでは「メディアをつくる、社会を考える」をテーマに置き、メディアやイベント等の制作を踏まえて社会の問題を考察することを課している。

DATA

● 主な連携先・メンバー

阪急電鉄株式会社／梅田ロフト／MARUZEN & ジュンク堂書店梅田店／毎日放送株式会社／NU茶屋町／関西大学総合情報学部 岡田朋之ゼミ茶屋町チーム

● 活動地域

大阪市北区茶屋町および鶴野町

● 活動資金

阪急電鉄株式会社による委託事業（交通費）および総合情報学部実験実習材料費（カード等の印刷費）／阪急電鉄と関西大学によるクイズ景品の現物提供



今後の課題・目標

- 1 | 具体的な企画の立ち上げから実施までの期間が約1か月と非常に短く、また企画実行をおこなったメンバーが2名というわずかな中で進めたために、事前の準備が十分とはいえなかった
- 2 | アンケートの内容がごく簡単なものであったので、少数ながらあらわれた不備についてや不満などの声を上手く拾い上げられなかった